

# 製品安全データシート

## ( M S D S )

### 1. 化学物質等及び会社情報

製 品 名 : ウェーブ・レジンキャストEX2kg キシレンタイプ[アイボリー] A液

会 社 名 : 株式会社 ウェーブ

住 所 : 〒180-0002 東京都武蔵野市吉祥寺東町1-10-1

担当部門 : 営業部

電話番号 : 0422-20-8616 FAX : 0422-21-3160

### 2. 危険有害性の要約

#### 【GHS分類】

#### 物理化学的危険性

火薬類	: 分類対象外
可燃性・引火性ガス	: 分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	: 分類対象外
支燃性・酸化性ガス	: 分類対象外
高压ガス	: 分類対象外
引火性液体	: 区分3
可燃性固体	: 分類対象外
自己反応性化学品	: 分類対象外
自然発火性液体	: 区分外
自然発火性固体	: 分類対象外
自己発熱性化学品	: 分類できない
水反応可燃性化学品	: 分類対象外
酸化性液体	: 分類対象外
酸化性固体	: 分類対象外
有機過酸化物	: 分類対象外
金属腐食性	: 分類できない

#### 健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	: 分類できない
(経皮)	: 分類できない
(吸入: ガス)	: 分類対象外
(吸入: 蒸気)	: 分類できない
(吸入: 粉塵、ミスト)	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 区分2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 区分2A
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 区分2
生殖毒性	: 区分1B
標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	: 区分2 (中枢神経系) 区分3 (気道刺激性)
標的臓器/全身毒性 (反復暴露)	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 区分1
水生環境有害性 (急性)	: 区分2
水生環境有害性 (慢性)	: 区分3

#### 【GHSラベル要素】

絵表示 :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 引火性液体および蒸気  
飲み込みと有害のおそれ  
皮膚刺激  
重篤な眼への刺激  
発がんのおそれの疑い

生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
 中枢神経系に障害のおそれ  
 呼吸器への刺激のおそれ  
 飲み込み、気道に侵入すると生命のおそれ  
 水生生物に毒性  
 長期的影響により水生生物に有害

注意書き：【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること  
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと  
 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること  
 容器を密閉しておくこと  
 容器を接地すること／アースをとること  
 防爆型の電気機器／換気装置／照明装置を使用すること  
 火花を発生させない工具を使用すること  
 静電気放電に対する予防措置を講ずること  
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと  
 取扱い後はよく手を洗う  
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと  
 屋外又は換気のよい場所でのみ使用すること  
 環境への放出は避けること  
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること  
 指定された個人用保護具を使用すること

【救急処置】

「4. 応急措置」による

【保管】

「7. 取扱い及び保管上の注意」による

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
 化学名又は一般名(別名) : ポリウレタンコンパウンド  
 成分及び含有量(主成分または危険有害成分対象)

成 分 名	CAS No.	含有量%	備 考
ポリエーテルポリオール 他	102-60-3 他	50～60	
キシレン	1330-20-7	1 6	PRTR法第一種、安衛法危険物(引火性の物)・表示物質 ・通知対象・有機則(第2種有機溶剤) 消防法第4類第2石油類(非水溶性液体) 船舶安全法別表第5(中引火点引火性液体)
エチルベンゼン	100-41-4	1 4	PRTR法第一種、安衛法通知対象

4. 応急措置

飲み込んだ場合 : 直ちに医師に連絡すること  
 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹸で洗うこと  
 皮膚又は髪に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服をすべて脱ぐこと／取り除くこと。  
 皮膚を流水／シャワーで洗うこと。  
 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること  
 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。  
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 暴露又は暴露の懸念がある場合 : 医師の診断／手当てを受けること  
 暴露したとき、又は気分が悪いとき : 医師に連絡すること  
 皮膚刺激が生じた場合 : 医師の診断／手当てを受けること  
 眼の刺激が続く場合 : 医師の診断／手当てを受けること  
 気分が悪いときは医師に連絡すること  
 無理に吐かせないこと  
 汚染された衣服を全脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること

## 5. 火災時の措置

消 火 剤  
消火方法

- ： 粉末・炭酸ガス(二酸化炭素)・泡
- ： 初期の火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂などを用いる。
- ： 大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。
- ： 移動可能な容器は、速やかに安全な場所へ移す。
- ： 水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。

## 6. 漏出時の措置

少量の場合  
多量の場合

- ： ウェス・ペーパー等で拭き取る。
- ： 漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立ち入りを禁止する。
- ： 土砂、土のう等で流れを止め、そのままあるいはウェス、土砂等に吸着させて回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取 扱 い  
保 管

- ： 目、皮膚接触を防ぐため、適切な保護具を着用する。
- ： 換気の良い場所で保管すること
- ： 涼しいところに置くこと
- ： 容器を密閉しておくこと
- ： 施錠して保管すること

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

- ： 設定なし
- ： 但し、100ppm(キシレンとして)

許容濃度

- ： 日本産業衛生学会( 年度版)；設定なし
- ： 但し、100ppm(キシレンとして)
- ： 100ppm(エチルベンゼンとして)
- ： ACGIH( 年度版)；設定なし
- ： 但し、100ppm(TLV-TWA キシレンとして)
- ： 100ppm(エチルベンゼンとして)

衛  
設備対策

- ： 取扱いについては、できるだけ密閉された機器の使用又は、局所排気装置・全体換気を適切に行うことが望ましい。
- ： 取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備を設け、その位置を表示する。

保 護 具

- ： 状況に応じて有機ガス用防毒マスク、保護めがね、保護手袋、静電気防止作業衣・安全靴を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

外 観

- ： 無色透明液体

臭 い

- ： 溶剤臭

p h

- ： データなし

比 重

- ： 1.00±0.05/23℃

溶 解 性

- ： 水に不溶、トルエン、酢酸エチル、アセトン等に可溶。

## 10. 安定性及び反応性

安定性

- ： 通常の実験条件においては安定

引 火 点

- ： 35℃(クレープランド開放式)

危険有害反応可能性

- ： 酸化剤と反応し、火災になることがある。

避けるべき条件

- ： 高温の物体、火花、裸火、静電気火花

混触危険物質

- ： 酸化剤

危険有害な分解生成物

- ： 一酸化炭素、二酸化炭素

## 11. 有害性情報

急性毒性

- ： キリンとして LD50(経口) =ラット 3,500mg/Kg (CaPSAR(1993))
- ： LD50(経口) =ウサギ 4,300mg/Kg(環境省リス評価第1巻(2002))
- ： LD50(経皮) ≥ウサギ 4,350mg/Kg (IUCLID(2000))
- ： 確定値が得られておらず区分外
- ： LD50(吸入：蒸気) 区分外

皮膚腐食性／刺激性

- ： 区分2
- ： キリンとして
- ： ウサギを用いた皮膚刺激性試験の結果(CERI・NITE有害性評価書No.62(2004))の記述から、「中程度の刺激性」が見られるとあり、区分2とした。

眼に対する重篤な損傷／刺激性	: 区分 2 A
	・キシレンとして ウサギを用いた皮膚刺激性試験の結果 (CERI・NITE有害性評価書No. 62 (2004)) の記述から、「中程度の刺激性」を有するとあり、区分 2 A とした。
呼吸器感作性	: データなし (分類できない)
皮膚感作性	: データなし (分類できない)
生殖細胞変異原性	: データなし (分類できない)
発がん性	: 区分 2
	・エチルベンゼンとして IARC (2000) で 2B、ACGIH (2001) で A3、日本産業衛生学会発がん性クラスで 2B に分類していることから、区分 2 とした。
生殖毒性	: 区分 1 B
	・キシレンとして CERI・NITE有害性評価書No. 62 (2004)、EHC190 (1997)、IRIS (2003) の記述から、マウスの発生毒性試験で親動物に一般毒性が見られない用量で、胎児に体重減少、水頭症が見られていることから、区分 1 B とした。
標的臓器／全身毒性 (単回暴露)	: 区分 2 (中枢神経系) 区分 3 (気道刺激性)
	・エチルベンゼンとして 実験動物に対する中枢神経系への影響は、区分 2 に相当するガイダンス値の範囲で見られ、また気道刺激性も見られる。
(反復暴露)	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 区分 1
	・エチルベンゼンとして 「この液体を飲み込むと、誤嚥により化学性肺炎を起こす危険がある。」との記載があり、また炭化水素であり、動粘性率は 0.74mm <sup>2</sup> /s (25℃) であることから区分 1 とした。

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性 (急性)	: 区分 2
	・キシレン: CERI・NITE有害性評価書 (2005)、96時間LC50=3.3mg/L (ニジマス) ・エチルベンゼン: 96時間LC50=1.8-2.9mg/L (オミジノコ)
水生環境有害性 (慢性)	: 区分 3
	区分 2 のキシレンを 25% 以下含有するため、区分 3 とした。 ・キシレン: 急性毒性区分 2、生物蓄積性が低いと推定されるものの、急速分解性がないことから区分 2

## 13. 廃棄上の注意

「7. 取扱い及び保管上の注意」による他、廃棄する場合は、関連法規に従って適切な設備で焼却するか、産業廃棄物処理業者に処分を委託する。  
空容器は内容物を完全に除去した後、産業廃棄物として処理又は回収にまわす。

## 14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	: 1307
品名	: キシレン
国連分類	: 3
容器等級	: III

「7. 取扱い及び保管上の注意」による他、容器毎に栓の閉まり具合、漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、摩擦等容器の損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

## 15. 適用法令

消防法	: 危険物第 4 類第 2 石油類 (非水溶性液体)
労働安全衛生法	: 57 条の 2 「通知対象物質」を含有する。(キシレン、エチルベンゼン) 有機則 第 2 種有機溶剤 (キシレン) 施行令第 18 条表示物質 (キシレン、エチルベンゼン)
P R T R 法	: 対象物質を含有する。第一種 No. 53:14% No. 80:16%
毒物劇物取締法	: 非該当
外国為替及び外国貿易法	: 輸出貿易管理令別表第 1 の 16 項に該当

#### 16. その他の情報

引用文献：JIS Z 7250:2005 化学物質等安全データシート（MSDS）－第1部：内容及び項目の順序  
JIS Z 7251:2006 GHSに基づく化学物質等の表示  
JIS Z 7252:2009 GHSに基づく化学物質等の分類方法  
ラベル・製品安全データシート 作成実務必携 GHS対応 国内版 化学工業日報社

※ 本書類に記載された情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な措置をお取り下さるようお願い致します。